

## 第5次草津市総合計画基本構想案に関する パブリックコメントの実施結果

1. 実施期間：平成21年6月25日（木）から平成21年7月24日（金）まで
2. 提出者数：4人  
提出方法：窓口提出1通、ファクシミリ1通、電子メール2通
3. 意見総数：18件
4. 意見の内訳  
(1) 草津市の現状と課題(3件)

意見の要旨	市の対応（案）
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 将来人口が推計として記載されているが、「地域経営」の視点を取り入れるのであれば、将来財政予測等いろいろな分析も行うべきではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本計画において、「地域経営の方針」を掲げ、財政見通しや行財政改革等を踏まえた取り組み内容を整理します。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● まちづくりの歩みにおいて、第1次総合開発計画から第4次総合計画の取り組みが記載されているが、まちづくりの継続性という観点から第4次総合計画での総括を受けているのかわからない。例えば、第4次総合計画で実施したところはどこで、できなかったところはどこなのかということを確認して次の計画につなげていくべきではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第5次総合計画の検討に先立ち、第4次総合計画を総括しています。</li> <li>● これを踏まえて、総合計画策定審議会や庁内の策定委員会等で第4次総合計画の達成状況を確認しています。</li> <li>● そのうえで「時代の潮流」等も勘案しながら、本市のこれからのまちづくりについての主要な課題を整理しています。</li> <li>● まちづくりの継続性を見ることができるよう、年表を掲載することとしています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現代の街が一般に抱える諸問題が網羅されているように見受けられ、各々の問題が十分分析がされているとは思えない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本構想においては、本市のこれからのまちづくりの主要な課題を整理しています。</li> <li>● 個別分野の課題については、基本計画の検討段階で整理し、これを踏まえた施策を位置づけていきます。</li> </ul>

(2) 基本構想

① 「将来ビジョン」に関して (4 件)

意見の要旨	市の対応 (案)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今後の近隣市町との合併も念頭に、草津市の方針に「中核大都市としての風格の形成」を加えたらどうだろうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「将来ビジョン」において、『あらゆる分野で滋賀県全体を先導する自負と責任を持つ』ことを掲げています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「木々のみどり」と「きれいな水」を生かす「まちづくり」を旧草津の街には期待している。明るくて、空気がきれいで、生活に便利で、安心して暮らせる地域が草津市全体に広がるとよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「将来ビジョン」において、「自然環境と人々の活動の調和」「うるおいと生活の豊かさ」を重視した記述をしている通り、ご指摘の内容は、旧草津をはじめとした今後の本市まちづくりの基調と考えています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「将来に描くまちの姿」が掲げられているが、記載されている内容が抽象的でイメージがわからない。草津市が、これからの 10 年間でどのようなところに力を入れていくのかをもっと明確に示していくべきではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「住み続けたい」「草津の市民としての喜びが感じられるまち」としてのイメージを、多くの市民が共感できるものとして整理しています。</li> <li>● 編集段階においては、イラストによってイメージの具体化を試みていきます。</li> <li>● この先 10 年のまちづくりの力点については、基本計画のなかで「リーディング・プロジェクト」の位置づけを検討しています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● まちの構造に「くさつエコミュージアム」が位置づけされているが、その具体的な内容が記載されていない。どのようなまちの構造となるのか分からない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「くさつエコミュージアム」は、共生ゾーンのうち、湖岸域一体を位置づけたものです。</li> <li>● 琵琶湖岸を市域に有し、そこに有力な環境関連施設が立地しています。このまちの構造を積極的に生かした取り組みの展開を図っていく位置づけです。</li> <li>● 環境学習を核とした取り組みの幅広い展開を想定しており、基本計画、また、係る分野の個別計画において、さらなる具体化を図っていきます。</li> <li>● 「エコミュージアム」の定義について、注釈を加えます。 →エコミュージアム：湖岸道路沿道における琵琶湖を始めとする自然環境や環境関連施設等の資源を活用し、自然と触れ合い、研究・学習できる場とするものである。</li> </ul>

② 「まちづくりの基本方向」に関して（4件）

意見の要旨	市の対応（案）
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市内に多くある遊休農地を市民農園として有効に活用できる仕組みづくり、例えば、遊休農地を持ち市民に開放してもよい方と家庭菜園をしたい市民のマッチングなどを行なってはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現在策定作業中の基本計画に基づいて事業を実施する段階で、具体的な取り組み内容については検討していきます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近隣都市間の交通網の整備、上下水道、ゴミ、エコなどインフラ整備も総合的に検討の必要があるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本構想に示す内容を踏まえ、基本計画の策定作業において、それぞれ、総合的な検討を行っています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 南北道路は、大江霊仙寺線の延長、県道湖南幹線の旧草津川平坦拡幅工事で賄えるが、東西線の道路が十分ではない。旧草津川の高低をつけての道路は必須と思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 3つの環状道路の位置づけを踏まえて東西方向の道路交通の整備促進を図っていきます。</li> <li>● 草津川廃川敷地の活用については、公園整備等を見込んでいますが、東西方向の移動に寄与する視点も併せた検討としています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 旧草津市内は、防災上問題はあるが、旧町家はそのまま保全し、二工場の生産工場区域への移転、高層ビル群、大型ショッピングの誘致を行なえば、さらに活気づくと考える。敢えて観光施設、土産物屋街は考えなくて良いと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第5次の総合計画では、成熟型社会への対応を図ることとしており、都市機能の更なる拡充については、社会経済情勢を見極めながら進めていきます。</li> <li>● 観光振興については、市民文化・生活文化の発信を進める立場からの振興を重視して、基本計画を検討しています。</li> </ul>

③ 行政の姿勢と役割に関して（2件）

意見の要旨	市の対応（案）
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今までも、健全な運営をされてきたが、今回も、経済・財政の理念をもって立案されるのがよいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第5次の総合計画では、「地域経営」の立場を基本に据えています。</li> <li>● なお、「行政の姿勢と役割」において、行政サービスの効率性・質の向上について記述しています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業の推進にあたって、財政問題は避けて通れず、これまでの財政分析と今後の見通し、今後の方策が必要だと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本計画において、「地域経営の方針」を掲げ、財政見通しや行財政改革等を踏まえた取り組み内容を整理するとともに、「行財政マネジメント」として施策を含めていきます。</li> </ul>

④ 基本構想全体に関して（4件）

意見の要旨	市の対応（案）
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本構想（案）は、総花的網羅的であり、重点化が必要だと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● この先10年のまちづくりの力点については、基本計画のなかで「リーディング・プロジェクト」の位置づけを検討しています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢化が進んでも持続可能な社会を目指すことは当然のことであり、さらなる高齢者社会にどう対応するかの視点から、基本構想をまとめ直す必要があるのではないかと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 超高齢社会への対応は、もちろん、重要であり強調しているところですが、基礎自治体としての役割を確実に担うなかで、社会構造の変動に適切に応じた地域社会づくりを図っていくこととしています。</li> <li>● そのことも含めて、次期総合計画においては、「元気」「うるおい」をキーワードに「草津市民としての誇り」を導いていくようなまちづくりをテーマとしています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全体的に文章が難解であり、スローガンや抽象的表現、また主観的な表現も目立つように感じられた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● わかりやすい総合計画を目指し、さらに表現の整理を行っていきます。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 4つの会議において本件に関する討議がなされているようですが、一本化が必要ではないだろうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各会議の、それぞれの役割と成果を踏まえながら、構想・計画内容の検討を行っています。</li> </ul>

(3) 基本計画の策定にあたって（1件）

意見の要旨	市の対応（案）
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本計画は、施策ごとに必ず予算や到達目標を明記していただき、市民の誰にでも進捗をフォローできる様なものにすることで、市長が常々言われている開かれた市政となると思う。具体的でわかりやすい基本計画を策定していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本計画策定段階では、全庁的な予算査定過程を経た事業費見込みができないため、予算等の計画書への掲載は想定していません。</li> <li>● 基本計画に位置づけた施策・事務事業を確実に推進するため、毎年度の予算編成とも連動させた行政システムの構築について検討を進めています。</li> <li>● 市民のみなさんと共有する、基本計画の成果指標を、市民会議の検討を経て、施策の基本方針ごとに設定していくこととしています。</li> </ul>